

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 株式会社 エイチワン  
 コード番号 5989 URL <http://www.h1-co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今田 静雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 大月 悦次

TEL 048-643-0010

四半期報告書提出予定日 平成22年11月5日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	63,686	20.4	3,502	—	3,945	—	2,999	—
22年3月期第2四半期	52,911	△28.9	△2,028	—	△1,828	—	△2,051	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	116.76	103.43
22年3月期第2四半期	△79.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	99,017	40,171	35.2	1,357.08
22年3月期	102,811	39,246	32.7	1,307.00

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 34,866百万円 22年3月期 33,580百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年3月期	—	7.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	8.0	5,200	476.3	6,100	303.1	4,800	—	186.82

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	25,750,830株	22年3月期	25,750,830株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	58,305株	22年3月期	58,117株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	25,692,638株	22年3月期2Q	25,692,738株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、日本では設備投資に改善の動きがあるものの、厳しい雇用情勢の継続に加え輸出にもやや陰りが見え始めました。また、米国では生産活動や雇用環境の停滞、欧州では財政問題から域内景気格差が顕在化し今後の金融政策の足かせとなることが見込まれるなど、先進国では総じて持ち直し傾向にあった景気に足踏み感や将来リスクの兆候が現われ始めました。一方で、新興国は、旺盛な個人消費や設備投資の増加が続くなど自律的な景気拡大、堅調な経済成長を遂げています。

自動車業界においては、日本では自動車購入補助制度満了に伴う駆け込み需要等により生産が増加、米国でも相対的に大型車やSUV車の生産が堅調に推移しました。また、中国では引き続き市場の拡大が続き、タイでは景気回復とアセアン需要の拡大に支えられ生産が増加基調にあります。

このような環境のもと、当社グループは、激変環境下で新たに顕在化した課題にも対応しながら中期計画の総仕上げを行うとともに、第2次中期計画最終年度である当期を将来への足場固めの年とも位置づけ、事業活動の目標を「生産体質の改革とグローバルな成長戦略により社会に貢献できる企業となる」と据えております。

この方針に則り、当第2四半期連結会計期間において当社グループは、低価格に耐えうるコスト力の実現や新規顧客の拡大、グローバル時代をリードする人材の育成などを進めてまいりました。具体例として、中国では自動車市場の拡大と人件費の上昇、品質向上への対策として溶接ロボット約130台の導入を進めており、また、タイでは新規顧客の拡大や物流効率の向上を図るため、同国チョンブリ県に新会社を設立することといたしました。

このような結果、当第2四半期連結会計期間における経営成績は、前年同期に比べ主力得意先の自動車生産台数が増加したことなどにより、売上高326億61百万円(前年同期比17.1%増)、営業利益15億53百万円(前年同期は営業損失5億85百万円)、経常利益18億69百万円(前年同期は経常損失5億72百万円)、四半期純利益14億16百万円(前年同期は四半期純損失8億22百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)に基づくマネジメント・アプローチによりセグメント情報を開示し、報告セグメント等が前年同期と異なることから、前年同期比較を行っておりません。

#### ①日本

日本においては、自動車購入補助制度満了に伴う駆け込み需要と堅調な輸出向け車種の生産及び前期からの継続的なコスト削減効果などにより、売上高135億12百万円、経常利益2億60百万円となりました。

#### ②北米

北米においては、大型車を中心に生産は堅調に推移、また、前期からの継続的なコスト削減効果により、売上高124億62百万円、経常利益3億72百万円となりました。

#### ③中国

中国においては、国内需要の拡大にともない生産が堅調に推移し、売上高60億77百万円、経常利益6億41百万円となりました。

なお、平成23年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年3月期第1四半期決算短信(平成22年7月30日開示)をご参照下さい。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が減少したものの現金及び預金の増加により流動資産が増加、投資その他の資産も増加したものの減価償却の進行による有形固定資産の減少により、990億17百万円(前連結会計年度末比37億93百万円減)となりました。

負債合計は、短期借入金や長期借入金の減少などにより、588億46百万円(同47億18百万円減)となりました。

純資産は、評価・換算差額等のマイナスが増加したものの、四半期純利益の計上により401億71百万円(同9億24百万円増)、自己資本比率は35.2%(同2.5ポイントのプラス)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、有形固定資産の取得や短期借入金の減少、長期借入金の返済による支出など資金の減少がありましたが、減価償却費や売上債権の減少などによる資金の増加によって96億81百万円(前年同期比39億39百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、減価償却費や仕入債務の減少、税金等調整前四半期純利益などにより前年同期と比べ29億48百万円(142.7%)増加の50億16百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得や投資有価証券の取得などにより前年同期と比べ8億15百万円(35.6%)増加の31億3百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、短期借入金の増加や長期借入れによる収入などにより12億38百万円(前年同期は18億13百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月28日に発表した平成23年3月期の連結業績につきましては、次のとおり修正しております。詳細は、平成22年10月27日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

通期連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	130,000	5,000	5,400	4,200
今回修正(B)	127,000	5,200	6,100	4,800
増減額(B-A)	△3,000	200	700	600
増減率	△2.3%	4.0%	13.0%	14.3%

(参考)通期個別業績予想の修正等

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	52,000	500	1,400	1,300
今回修正(B)	53,000	950	2,000	1,640
増減額(B-A)	1,000	450	600	340
増減率	1.9%	90.0%	42.9%	26.2%

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 2) 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更が、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,881	6,705
受取手形及び売掛金	16,900	17,851
たな卸資産	8,986	10,242
繰延税金資産	617	675
その他	2,328	2,008
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	38,701	37,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,129	16,560
機械装置及び運搬具(純額)	21,606	25,434
工具、器具及び備品(純額)	7,255	10,344
土地	4,654	4,678
建設仮勘定	5,637	2,726
有形固定資産合計	54,282	59,744
無形固定資産		
ソフトウェア	137	199
その他	10	22
無形固定資産合計	147	222
投資その他の資産		
投資有価証券	5,178	4,835
長期貸付金	96	102
繰延税金資産	164	48
その他	534	481
貸倒引当金	△86	△91
投資その他の資産合計	5,886	5,376
固定資産合計	60,316	65,343
資産合計	99,017	102,811

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,608	16,959
短期借入金	7,232	8,371
1年内償還予定の社債	300	350
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	4,375	—
1年内返済予定の長期借入金	4,943	5,057
未払金	2,071	2,418
未払法人税等	464	482
賞与引当金	967	968
設備関係支払手形	589	223
その他	2,413	2,188
流動負債合計	39,964	37,020
固定負債		
社債	850	1,000
転換社債型新株予約権付社債	—	4,375
長期借入金	11,785	13,934
繰延税金負債	1,439	1,670
退職給付引当金	3,129	3,111
役員退職慰労引当金	286	413
債務保証損失引当金	331	351
負ののれん	499	998
その他	559	690
固定負債合計	18,881	26,544
負債合計	58,846	63,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240	3,240
資本剰余金	12,237	12,237
利益剰余金	24,113	21,242
自己株式	△36	△36
株主資本合計	39,554	36,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	402	647
為替換算調整勘定	△5,090	△3,750
評価・換算差額等合計	△4,687	△3,103
少数株主持分	5,304	5,666
純資産合計	40,171	39,246
負債純資産合計	99,017	102,811



(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	52,911	63,686
売上原価	50,285	55,418
売上総利益	2,625	8,267
販売費及び一般管理費	4,653	4,765
営業利益又は営業損失(△)	△2,028	3,502
営業外収益		
受取利息及び配当金	49	51
負ののれん償却額	499	499
為替差益	27	—
その他	115	367
営業外収益合計	691	918
営業外費用		
支払利息	449	313
為替差損	—	134
その他	42	26
営業外費用合計	491	475
経常利益又は経常損失(△)	△1,828	3,945
特別利益		
固定資産売却益	16	24
特別利益合計	16	24
特別損失		
固定資産売却損	13	0
固定資産廃棄損	13	183
減損損失	262	—
投資有価証券評価損	26	48
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2
貸倒引当金繰入額	70	—
特別損失合計	385	235
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,197	3,733
法人税等	62	488
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,244
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△208	245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,051	2,999

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	27,901	32,661
売上原価	26,131	28,695
売上総利益	1,770	3,966
販売費及び一般管理費	2,355	2,412
営業利益又は営業損失(△)	△585	1,553
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	28
負ののれん償却額	249	249
その他	51	302
営業外収益合計	327	580
営業外費用		
支払利息	212	153
為替差損	75	106
その他	25	5
営業外費用合計	313	265
経常利益又は経常損失(△)	△572	1,869
特別利益		
固定資産売却益	15	4
特別利益合計	15	4
特別損失		
固定資産売却損	12	0
固定資産廃棄損	11	134
減損損失	262	—
投資有価証券評価損	26	4
特別損失合計	312	139
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△869	1,734
法人税等	33	179
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,554
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△80	138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△822	1,416

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,197	3,733
減価償却費	7,816	6,358
負ののれん償却額	△499	△499
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△126
退職給付引当金の増減額(△は減少)	100	59
受取利息及び受取配当金	△49	△51
支払利息	449	313
固定資産売却損益(△は益)	△2	△23
固定資産廃棄損	13	183
減損損失	262	—
投資有価証券評価損益(△は益)	26	48
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	△2
売上債権の増減額(△は増加)	1,870	338
たな卸資産の増減額(△は増加)	△602	597
仕入債務の増減額(△は減少)	1,027	246
その他	△1,059	△96
小計	7,243	11,082
利息及び配当金の受取額	49	51
利息の支払額	△448	△321
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	329	△562
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,173	10,249
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	—	100
有形固定資産の取得による支出	△5,924	△3,575
有形固定資産の売却による収入	9	80
無形固定資産の取得による支出	△14	△14
投資有価証券の取得による支出	△13	△861
その他	△23	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,966	△4,346
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,984	△731
長期借入れによる収入	3,943	1,059
長期借入金の返済による支出	△3,807	△2,463
社債の償還による支出	△150	△200
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△128	△128
その他	△5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,131	△2,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	△162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△811	3,275
現金及び現金同等物の期首残高	6,553	6,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,742	9,681

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

自動車部品事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,385	19,989	14,536	52,911	—	52,911
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,880	—	4	2,884	(2,884)	—
計	21,265	19,989	14,540	55,795	(2,884)	52,911
営業利益又は営業損失(△)	△1,839	△509	86	△2,262	234	△2,028

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・アメリカ、カナダ      アジア・・・中国、タイ、インド

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高(百万円)	19,964	14,519	29	34,512
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	52,911
III 海外売上高の連結売上高 に占める割合(%)	37.7	27.4	0.1	65.2

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米・・・アメリカ、カナダ
- (2) アジア・・・中国、タイ、インド
- (3) 欧州・・・イギリス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に自動車部品等を製造・販売しており、日本においては当社が、海外においては北米(アメリカ、カナダ)はケー・ティ・エイチ・パーツインダストリーズ・インコーポレーテッドをはじめ計4現地法人が、中国は広州愛機汽车配件有限公司をはじめ計3現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人は各地域ごと連携しながら包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」及び「中国」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、自動車部品等を主に製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	北米	中国	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,654	23,191	12,191	58,037	5,648	63,686	—	63,686
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,139	—	—	5,139	13	5,152	(5,152)	—
計	27,793	23,191	12,191	63,176	5,662	68,839	(5,152)	63,686
セグメント利益(経常利益)	976	637	1,587	3,201	488	3,690	255	3,945

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイヤ及びインド等における事業活動であります。

2 セグメント利益の調整額255百万円は、セグメント間取引消去△125百万円、負ののれん償却額380百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。